

## 大きなのっぽの古時計

札幌市医師会  
手稲溪仁会病院

まつむら みちや  
松村 道哉

僕の家にはマンションの1室に似つかわしくないホールクロックがある。祖父が時計店を営んでおり戦前から父の実家にあったものらしい。40年位前僕が学生のころ祖母が亡くなった時に父が譲り受け自宅に運んできた。父曰く「この時計はそれはそれは高価なものだ」と自慢げに語り大切にしていた。時報のチャイムがとてもきれいな音色で、僕もその響き渡る音を聞くのが大好きだった。その後実家を離れ時計とはしばしお別れしていたのだが、父が亡くなるとともに誰もメンテナンスもしなくなり粗大ゴミ化してしまった時計を、時計好きだった僕が引き取らないかという話となった。高価なものという父の言葉を思い出し、ちょっとした下心もあってありがたくもらい受けることとした。リアルおじいさんの時計である。

さて全く時計の知識もなく簡単に考えていたのだが、いざ家にもっていこうと普通の配送業者に連絡すると、これはうちじゃ扱いきれず専門業者じゃないと運べないと無下に断られてしまった。確か父は分解し自分で運んで組み立てていたような気がするが、僕の手は小さくてとても運べそうもなく、また分解しても自分で組み立てる自信もないので、専門業者をお願いすることとした。配送に5万円以上かかると言われてしまったが、仕方なくお願いすると、後日2名が訪問し手早く分解していき、部品を白い手袋でうやうやしく梱包していく。鎖や重りなどもそれぞれ個別の専用袋に丁寧に収めていき、そんなに丁寧に扱わなければいけないのかと尋ねると、重りや鎖は素手で触ると微妙に重量が変わってしまうため、直に触るなどとてもないと説明された。いやいや子供のころ確か父は素手で巻き上げていたし今さら？と思いつつ、甘んじて説教を受けつつ搬送。搬入後は組み立ても早く流石プロだなと一応配送料の高さは納得した。配送だけでは済まずオイル差しなどのメンテナンスもあり、まずウン万円也。

子供の頃はメーカーなど気にしておらず刻印も英語だった気がしたので外国製だと思っていたのだが、盤面はCITIZENとあった。そうか国産だったのか。戦前にこんな立派な時計を作っていたのだと思うとさらに愛着が湧きしばし柱時計生活を楽しんでいたのだが、自分の引っ越しがあり時計もまた移さなくてはならなくなった。予測はしていたのだが、やはり引っ越し屋さんにはうちでは運べないという。前回の業者に頼み同額かかるのを覚悟していた

が、今度は同じ札幌市内の移送のため半額程度で済んだ。でもやはりウン万円也。

その引っ越し後まもなく、大きめの地震があって振り子が下に落ちてしまった。自分で留め具に戻したのだが、頻りに落下するようになったため以前の配送業者に聞くと、おそらく今度は修理が必要なので別の業者に頼まなくてははいけならしい。家まで来てくれるのが小樽の業者しかなく、出張診断に交通費込みでウン千円也。見てもらうと振り子の留め具が壊れており、また貴重な時計なのでオーバーホールもしたほうが良いと勧められた。もう既に結構お金をかけてきたこともあり、ここまできたら直してもらえないと決断しお願いする。十ウン万円也。

高額なだけのことはあり、ぴかぴかになって戻ってきたのだが、業者が奇妙なことを言い出した。時計の盤面がCITIZENだがムーブメントがドイツ製とのこと。ムーブメントもとても立派なものだそうだが、CITIZENは純国産メーカーなんですけどね。うん？ 純国産ではない？ どういうことか聞いても私にはわかりかねると言い、ただ間違いなく貴重なモノだから大切にされた方がいいですよと言われた。何だか本当に高価で貴重なのか雲行きがあやしくなってきた。

それでも子供の頃からあるので愛着もあり再度使い始めたのだが、残念なことにある日マンションの管理組合にどこかの家の時計のチャイム音がうるさいというクレームが入ってしまった。チャイムの止め方もわからなかったので、一旦巻き上げをやめお休みさせていたが、後日業者が3本の鎖のうち真ん中を巻き上げなければチャイムが鳴らないことを教えてくれ、しばらくは無音で使ってみた。元々奥の部屋から響いてくる音色を楽しんでいただけなので、時計のために壁の防音工事をする訳もなく、結局また止めてしまった。

さて我が家でも粗大ゴミ化させた金食い虫君だが、疑問なのは本当にCITIZEN製なのかどうか。あらためて細部をみてもしっかりと作りでとても素人が継ぎはぎしたような代物には見えない。歴史的な価値もあるような気がして、真相を知るためお宝鑑定団にでも出してみようかとも思ったが、動かすときっとまたお金がかかっちゃうので、真相は謎のまま♪ 今はもう動かない（動くけど）その時計～として眠らせている。